

“人はどのようにして救われるか?”

- 「罪人の祈り *Sinners Prayer* 」が闇から光に入る方法でしょうか。－罪人の祈り・四つの霊的な法則
- イエスはお答えになった。「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。」ヨハネ3:5
- 聖書の回心の形態が、どのようにイエスがその人の心に入ってくるように祈ることに、発展したのか。

罪人の祈り(例)；

「祈りを通してただ心の中にキリストを受け入れてください。そうすれば、彼はあなたを受け入れてくれるでしょう。あなたがどこの教会に属しているか、あるいは今までよい行いをしてきたかは重要ではありません。あなたがキリストを受け入れた瞬間に、あなたは新たに生まれるでしょう。彼は戸を叩いています。ただキリストを救い主として信じるだけです。神はあなたを愛しており、あなたを無条件に赦します。誰でも救われることができます。キリストが今あなたの心の中に入ってくるように祈りましょう。」

罪人の祈り

- バプテスマと回心は結びつかない
- 教会やイエスを主として歩むことと回心は切り離して考えられる

黙示録3: 14-20

ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。

『アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっている。そこで、あなたに勧める。

黙示録3: 14-20

裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

リビングバイブル

「自分の国にいながら、自分の民のユダヤ人にさえ、受け入れてはもらえなかったのです。この方を心から喜び迎えたのは、ほんのわずかな人にすぎません。しかし、受け入れた人はみな、この方から、神の子供となる特権をいただきました。それにはただ、この方が救ってくださると信じればよかったです。信じる人はだれでも、新しく生まれ変わります。神が、そう望まれたのです。人間の熱意や計画は全く関係ありません。」(ヨハネ1:11-13、リビングバイブル、斜体は著者による)

斜体にされた言葉は、元々のギリシア語の中では全く支持されていないもの

あからさまな挿入

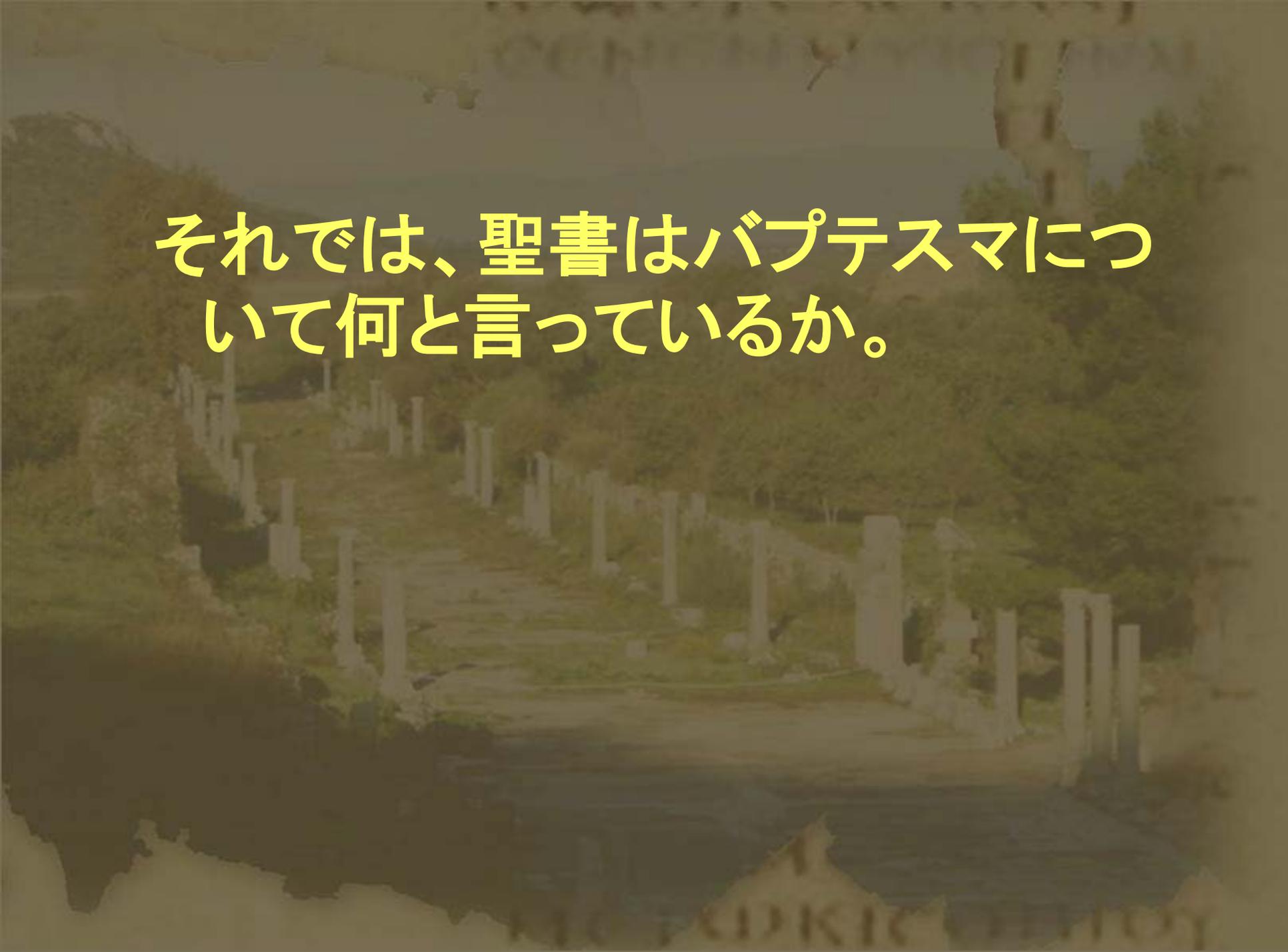
⇒テラーの元々の動機の弁護として、リビングバイブルは、主に子供を念頭において作成された

その箇所が聖書が原形から崩れていることも知らずに、数十年間、「信じる瞬間」を救いとして正当化するために、リビングバイブルを用い、根拠付け続けてきた

“個人的な救い主として、キリストを受け入れ、信
頼する”というフレーズは、至る所で使われた。

新約聖書における回心の形態は何か；

- 信仰 Faith
- 悔い改め Repentance
- バプテスマ Baptism – 罪の赦しと賜物としての
聖霊
- 死まで忠実である



それでは、聖書はバプテスマについて何と言っているか。

A faded, sepia-toned photograph of an ancient Greek or Roman archaeological site. The image shows a large number of standing columns, some of which are part of a larger structure. The columns are arranged in a grid-like pattern, suggesting a temple or a public building. The background is filled with more columns and some trees, creating a sense of a vast, ancient site. The overall tone is historical and somewhat somber.

The END